

第 59 回全国中学校スキー大会開催にあたって（感染予防対策の確認）

本大会に関わるすべての方は、もう一度「令和 3 年度全国中学校体育大会 第 59 回全国中学校スキー大会 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を確認し、新型コロナウイルス感染拡大予防を徹底して大会に参加してください。

<新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン記載の重要事項（抜粋）>

※赤字は変更、追加

1 本大会に関わるすべての方の遵守事項

- (1) 本大会に関わるすべての者は、大会前後 2 週間分（計 4 週間分）の体調を体調記録表【COVID-19 様式 1】に記録し、体調管理を徹底する。また、大会前後 2 週間分（計 4 週間分）の行動を行動履歴書【COVID-19 様式 4】に記録する。どちらの様式も大会終了後 1 ヶ月程度各自で保管する。
- (2) 集合時、待機中（テント内を含む）、休憩中および食事中などにおいて、人と人との距離（できるだけ 2 m、最低 1 m）を確保する。特に食事中や補食等を摂る場合は他者との距離をとり、対面をさげ、会話を控える。
- (3) 競技やウォーミングアップ等スキー滑走中および食事中を除いて常時マスク等（不織布マスクを推奨）を着用し、咳エチケットを徹底する。ただし、活動や気候の状況等により、健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、この限りではない。マスクを外さざるを得ない場合には、人と人との距離（できるだけ 2 m、最低 1 m）を確保し、会話や応援は控える。
- (4) 流水と石けんによる手洗い（30 秒以上）をこまめに行い、手指消毒を徹底する。また、マイタオルを各自持参し、共用をしない。
- (5) 感染予防処置を遵守できない者に対して、他の参加者の安全を確保するために参加取消や途中退場を求めることがある。（入場に関わる提出書類の虚偽記載、マスク等の着用、手洗いや消毒の指示に従わない、大声を出す、身体的距離を確保しない、飲食時の感染予防を行わない等）

2 参加要件

- (1) 本大会に出場する全ての選手、監督・引率者、外部指導者（コーチ）は、検査での陰性証明（長野県来県前 72 時間以内に採取した検体を用いたもの）もしくはワクチン接種証明（以下「証明書等」）を大会実行委員会に提出する。
- (2) 上記証明書等を提出しない場合は、本大会への参加は認められない。
- (3) 検査費は自己負担とする。

①医療機関（検査機関・薬局等）で行った PCR 検査または抗原（定量・定性）検査の陰性証明（原本またはコピー）
陰性証明書、検査結果証明（通知）書、検査証明書、健康証明書など、氏名・検体採取日・検査結果（陰性）・医療機関名（検査機関名・薬局名等）が確認できるもの

②ワクチン接種証明（コピー）

新型コロナウイルス感染症予防接種証明書、新型コロナウイルスワクチン予防接種済証、新型コロナウイルスワクチン接種記録書など、氏名・ワクチンの2回接種が確認できるもの

- ・①②ともに医療機関（検査機関・薬局等）や自治体から発行されたものとし、紙媒体で提出する。スマートフォン等での電子媒体（アプリなど）の提示や証明書等の写真データ画像の提示は認めない。（画面をプリントアウトし、紙媒体で提出する。）
- ・抗体検査や市販の検査（簡易）キットによる結果は無効とする。
- ・来会受付時に各都道府県の責任者が各校の証明書等をまとめ、学校同行者体調記録表【COVID-19 様式2】とあわせて提出する。

※学校ごと現地入り異なる場合、遅れて現地入りする学校は現地入りした際に提出する。

- ・①②ともに大会終了後一ヶ月程度保管し、その後実行委員会で責任をもって破棄する。

3 参加同意について

- (1) 各校の顧問等は、大会に参加する選手および保護者、監督・引率者、外部指導者（コーチ）に対し、参加にあたっての注意事項を説明する。
- (2) 感染の不安から参加を希望しない者については、無理に参加させない。
- (3) 参加選手、監督・引率者、外部指導者（コーチ）は、参加にあたっての注意事項に同意した上で、参加同意書【COVID-19 様式5】に署名（選手は保護者の署名捺印も）し、各校の学校長に提出する。
- (4) 各校は2月1日（火）までに、以下のいずれかの方法で参加同意書【COVID-19 様式5】を大会事務局に提出する。（原本は各校で保管）
①データ（PDF）送信 ②コピーを郵送 ③コピーを来会受付時に提出

4 選手団について

各都道府県選手団の役員（団長・副団長・総監督・総務）は、基本的に出場する生徒のいる学校から派遣される校長・教員・部活動指導員・外部指導者（コーチ）の中より選出し、必要最小限な選手団にすること。

5 大会への参加制限

感染者や濃厚接触者等に認定された場合の自宅待機（健康観察）期間については、保健所からの指示に従ってください。

(1) ～来会受付まで

- ①来村日前日までに、感染者もしくは濃厚接触者等と認定され、保健所が指定する自宅待機（健康観察）期間中である者の大会参加は認めない。
この間 PCR 検査の結果が陰性であっても自宅待機（健康観察）期間の終了日までは大会参加は認められません。
- ②来村14日前～来村日前日の期間に、感染が疑われる者が発生した場合は、必ず医療機関を受

診し医師の診断または検査を受ける。感染が否定される明確な医師の診断や検査結果がない限りは、その者の大会参加は認めない。

③来村14日前～来村日前日の期間に、政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合、その者の大会参加は認めない。

④臨時休業、学年閉鎖、学級閉鎖等の状況にある大会参加校の選手・教職員等については、状況を正確に把握するために、チーム全体や関係者の健康観察を迅速かつ的確に実施し、得られた情報を踏まえ、医療機関（保健所等）、教育委員会、当該中学校、当該中体連等で慎重に審議し、選手・教職員等の派遣の可否を決定する。（その旨、開催地実行委員会に報告）

大会派遣「可」とした場合には、必ず医療機関を受診し医師の診断または検査を受けること。感染が否定される明確な医師の診断や検査結果がない限りは、その者の大会参加は認めない。

<濃厚接触者の定義>

患者の感染可能期間内（発症日の2日前から、診断後に隔離開始されるまでの間）に患者と接触した者のうち、次の1～4に該当する方

1. 患者と同居、あるいは長時間の接触（車内・航空機など）があった人
2. 適切な感染防護なしに患者を診察、看護もしくは介護した人
3. 患者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い人
4. その他、手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策（マスクなど）なしで15分以上接触があった人（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）

感染者の療養期間と濃厚接触者の自宅待機（健康観察）期間（以下、療養期間等）は、症状の程度や変異株の種類によって異なります。実際の療養期間等は、保健所からの指示に従ってください。

来村14日前より前に発症した場合や濃厚接触者に認定された場合でも、来村日までに療養期間等が解除されない場合は、大会参加は認められません。

※全国34都道府県に【新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置】が適用されている中で（1/27現在）、大会への参加については、本大会における参加条件を満たしていることはもちろんのこと、各都道府県や市町村単位で求められている感染予防対策を遵守して参加すること。

(2) 大会期間中

①来会受付以降、大会期間中に選手や監督・引率者、外部指導者（コーチ）に風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）や倦怠感、味覚嗅覚の異常など新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、その選手や監督・引率者、外部指導者（コーチ）の大会参加を認めず、棄権とする。

②来会受付以降、大会期間中に選手や監督・引率者、外部指導者（コーチ）に上記のような症状が出た場合、当該者の所属する選手団および同レースに出場した選手や同会場にいた監督・引率

者、外部指導者（コーチ）の中で、濃厚接触者の定義に該当する者の以降の大会参加を認めず、棄権とすることもあり得る。

- ③来会受付以降、大会期間中に同居人に感染が疑われる者が発生した場合は、速やかに医療機関を受診し医師の診断または検査を受ける。その診断・検査結果により、感染者もしくは濃厚接触者と認定された場合、その者の大会参加は認められない。

6 大会前の対応

- (1) 大会期間中だけでなく、日常から新しい生活様式を意識し、感染予防を心がける。
- (2) 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、監督・引率者や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を構築しておくこと。

7 大会期間中の対応

- (1) 各都道府県の責任者または監督・引率者等は、競技会場での活動場面および宿泊施設で生活場面において、こまめに選手の体調不良の有無を確認し、選手の健康観察を徹底する。
- (2) 体調に異常が見られた場合は、医療・救護要項に則り健康観察記録票【様式①】を記入し、朝 8:00 までに大会事務局に提出する。
- (3) 体調の異常を確認後、各都道府県の責任者または監督・引率者等は、速やかに大会事務局に報告するとともに、受診先の確認や移動の手配、所属校や保護者への連絡を行う。受診後は病院受診報告書【様式②】を大会事務局に提出する。また、感染症に罹患した場合は、感染症罹患届出書【様式③】を大会事務局に提出する。
- (4) 特に体調記録表【COVID-19 様式 1】に挙げられた項目の症状がある場合は、必ず保健所、医療機関等に報告・相談する。

8 大会終了後の対応

- (1) 大会に参加した日あるいは大会会場へ来場した日から 2 週間以内に、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）や倦怠感、味覚嗅覚の異常などがあった場合は必ず医療機関を受診し、新型コロナウイルス感染症への感染が判明した時は、速やかに大会事務局へ報告する。
- (2) 報告の対象者は選手、監督・引率者、外部指導者（コーチ）、大会役員、競技役員、観戦者等、大会会場に来場したすべての関係者となる。報告の際には、体調記録表【COVID-19 様式 1】および行動履歴書【COVID-19 様式 4】の提出を求められることがあるので、大会終了後も記録を継続し、1 ヶ月程度各自で保管する。

9 来会受付について

- (1) 各都道府県の責任者は、各校から提出された学校同行者体調記録表【COVID-19 様式 2】と証明書等をまとめ、来会受付時に大会事務局に提出する。
- (2) 発熱や風邪の症状の有無、当日の検温記録を確認し、体調不良者または症状（例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）が確認された者については、大会参加を取りやめる。記入の不備については、不足項目の確認（検温）を行う。

10 会場への移動について

- (1) チームでまとまって会場へ移動する場合、バス等の車内が密閉空間にならないよう、運転手と連携して定期的に換気をしたり、1台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。
- (2) 各競技会場への移動は、できる限り徒歩及びリフトとし、極力自動車等での移動が必要ないようにする。

11 来場制限および入場方法について

- (1) 各競技会場への入場は、以下の方のみとする。

- ・選手
正式申込書類③【各競技参加選手一覧】および④【種目別申込書】に記載されている者
- ・監督・引率者、外部指導者（コーチ）
正式申込書類⑥【役員・監督・外部指導者名簿】に記載されている者
- ・大会役員、競技役員、報道等大会関係者

- (2) 大会に関わるすべての者は、競技やウォーミングアップ等スキー滑走中を除いて、基本的にIDを携行すること。
- (3) 無観客開催とし、一般観戦者（保護者を含む）の入場を認めない。

12 競技に関わって

- (1) ウォーミングアップやクーリングダウン、コンディショントレーニングは密を避けて行う。
- (2) 給水はマイボトルとし、コップの共用や大きなジョグボトル等での集団使用はしない。
- (3) 結団式や競技前後における、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣やハイタッチ、声出し、その他接触動作や発声の伴う激励や感情表現を避ける。
- (4) **フィニッシュ後のビブは、各自で外し所定の場所に返却する。**

【アルペン】

- ①リフトはスキー場の定める定員乗車とする。リフト乗車中はマスク等を着用し、会話は控える。
- ②リフト待ちの際は、スキー板1台分の長さを目安に間隔を空ける。
- ③スタートハウスへの入場は、最大2名（スタートを切る選手+次の選手）とする。
- ④フィニッシュエリアにクールダウンエリアを設け、呼吸が整い次第マスクを着用しサポートエリア（マスク着用厳守）に出る。
- ⑤スキー場内での感染対策については、「野沢温泉スキー場における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に従う。

【ジャンプ】

- ①スタート前のアプローチ上部では、できるだけ間隔を空けて待機する。
- ②スタート台までの階段は他の選手と距離を空けて上る。
- ③階段を上る前にマスクを受け取り、コーチングボックス付近やスタート台ではマスクを着用する。
- ④マスクはスタート直前まで着用し、スタート前に外して捨てる。
- ⑤更衣室での混雑を避けるため、なるべく自チーム車両等で着替えを行う。

【クロスカントリー】

- ①フィニッシュエリアを広く設定するので、フィニッシュ後すぐに倒れ込まず、安全な場所まで移動する。

※その他、各競技の詳細な感染対策は、監督・コーチ会議で周知徹底する。

13 更衣室の利用について

- (1) マスク等を着用し、人と人との距離（できるだけ2 m、最低1 m）を確保して利用する。
- (2) 対面をさげ、マスクを外す際は会話を控える。また、利用時間が長ならないようにする。

14 式典・表彰について

- (1) 開会式・閉会式は行わない。
- (2) 各競技会場での表彰は行わない。入賞者は、公式記録発表1時間後から大会事務局（野沢温泉村公民館）にて各自賞状等を受け取る。

15 監督・コーチ会議について

セクションごとに実施し、出席者は各都道府県1名とする。

アルペン：令和4年1月31日（月）16時00分より オンラインによるライブ配信

ジャンプ：令和4年2月1日（火）8時00分より 野沢温泉シャッツェ（屋外）

クロス：令和4年1月29日（土）～ 資料を大会ホームページ上に掲載

16 宿舎での生活について

<宿泊>

- (1) 宿舎内でも常（食事、入浴、就寝以外）にマスク（不織布マスクを奨励）を着用する。
- (2) 食事や入浴など、マスクを外す場面では会話を控える。
- (3) できる限り宿舎からの外出を控える。
- (4) 部屋割りで指定された自分の部屋で過ごし、他の部屋への行き来は行わない。
- (5) 流水と石けんによる手洗い（30秒以上）をこまめに行い、手指消毒を徹底する。
- (6) ミーティング等を行う場合は広い場所で行い、密集・密接しないようにする。
- (7) 部屋の換気を常時行う。
- (8) 体調不良（熱、咳、咽頭痛、倦怠感など）の場合は直ちに引率責任者等へ申し出るようにし、居室に留まり、他者との接触をしない。
身体的距離の確保を常に意識する。（相部屋での布団の位置も配慮する）
- (9) 宿泊者以外の入館は認めない。

<食事>

- (1) 可能な限り時間差で食事をとる。
- (2) 飲食開始直前までマスクの着用をする。
- (3) 席の間隔を空け、可能な限り横並びで食べる。

(4) 会話を控える。(会話をする際はマスク着用)

<入浴>

(1) 可能な限り時間差で入浴する。

(2) 物品の共用を避ける。

(3) 会話を控える。(特に対面での会話はしない)

(4) 身体的距離の確保および、定期的な換気が行われているか確認する。

※その他、各宿舍が定める感染対策に従う。

17 必要携行品

(1) マスク・・・**不織布マスクを推奨**。競技やウォーミングアップ等スキー滑走中および食事中を除いて常時着用する。各自予備を持参する。

(2) 体温計・・・各都道府県または各校、個人で持参する。

(3) 手指消毒液・・・各都道府県または各校、個人で持参し、こまめな手指消毒に努める。

(4) マイタオル・・・手洗い時等に使用し、他人との共用をしない。

(5) ゴミ袋・・・ゴミの持ち帰り用として用意する。

18 その他

(1) チーム内で物を共有しない。やむを得ず共有する場合は、使用前後の消毒を行う。

(2) 応援の際、他の選手や監督・コーチ、役員等との距離(できるだけ2m、最低1m)を確保し、大声での応援をしない。

(3) テント内で補食等を摂る場合、できるだけ2m(最低1m)空くよう選手同士の間隔を取り、対面をさけ、会話は控える。

(4) 各競技会場にゴミ箱の設置をしない。各自でゴミ袋を用意し、ゴミはすべて持ち帰る。

(5) 落とし物・忘れ物については、大会期間中のみ各競技会場または大会事務局で保管する。なお、感染拡大予防の観点から、大会終了翌日に破棄する。※落とし物・忘れ物に気づいた際は、速やかに各競技会場本部または大会事務局に問い合わせること。

(6) 大会期間中は、不要不急の外出、大人数・長時間の集まりや会食を自粛すること。